



# 旧見付学校だより vol. 79

平成 29 年 10 月 31 日

## 照明器具

見付に電気が通じたのは明治時代の終わり頃です。それまでは、<sup>あんどん</sup>行灯やろうそく、ランプ等で夜を過ごしました。電気が来てもすぐに利用できる家ばかりではなかったようです。昭和30年代前半まで照明以外に電気を使うことはあまりなかったため、電気イコール照明のように言われます。旧見付学校3階に昔の照明器具が展示されています。それぞれの明るさを調べてみました。

### <sup>あんどん</sup>【行灯の明るさ】

豆電球をつけたぐらいの明るさ。新聞がやっと読める程度。

### 【ろうそくの明るさ】

<sup>あんどん</sup>行灯よりやや明るい程度。値段が高かったので日常での使用は少なかった。

### 【石油ランプの明るさ】

ろうそく3本分の明るさと言われる。石油ストーブの前ぐらいの明るさ。少し離れると字は読みづらい。



昔の人たちは、照明が暗く、その上、ろうそくもランプもお金がかかるので、節約のため、早寝早起きの習慣が身につけていました。

行灯やランプは3階に展示してあります。そのほかにも懐かしい農具や生活用具もあります。ぜひ足をお運びください。職員一同お待ちしております。

〒438-0086 磐田市見付 2452

磐田市旧見付学校 TEL & FAX 0538-32-4511

(休館日：月曜、祝日の翌日、年末年始)

11月の休館日：11/6、7、13、20、24、27